

岐阜大学医学部 麻酔・疼痛制御学講座

M-6 卒業試験問題

2019 年 12 月 16 日 (月)

試験時間：15:00～16:30

問題様式

問題様式は記述式問題 10 題からなる。以下の指示に従って解答すること。試験時間は 90 分である。

解答用紙は 1 問につき 1 枚使用し、各用紙 (10 枚) の左上に問題番号、右上に出席番号、氏名を記入すること。10 問題の解答を各用紙に簡潔に記述すること。不的確な記述は減点の対象となるので注意のこと。

問題冊子は持ち帰って下さい。

試験終了後、試験問題その他に関して自己学習しても不明な点が残る場合は学年で取りまとめ、代表者数名で質問に来て下さい。

1 筋弛緩薬について

1-1. 非脱分極性筋弛緩薬の代表的な薬剤名（一般名）を一つ挙げ、作用機序を簡潔に述べよ。

1-2. 非脱分極性筋弛緩薬の拮抗薬（一般名）を一つ挙げ、作用機序を簡潔に述べよ。

2. 医療用麻薬に共通する副作用とその対策を述べよ。

3. 硬膜外カテーテルが硬膜外腔に留置されていることを確認する方法について説明せよ。

4. 術中運動誘発電位(MEP)モニタリングについて説明せよ。

5. ヘモグロビン-酸素解離曲線が右方ヘシフトする状況を挙げよ。

6. カプノモニターについて

6-1. カプノモニターは呼気中の何を検出しているか。

6-2. 正常なカプノモニターの波形を示し、波形と吸気・呼気の関係について説明せよ。

7. 局所麻酔薬中毒の症状と治療法を述べよ。

8. 術後せん妄の危険因子を列挙せよ。また、術後認知機能障害との違いを簡潔に述べよ。

9. 小児は成人より容易に低酸素血症になりうる。この理由について、以下の語句を用いて成人の場合と比較しながら説明せよ。

[酸素消費量、機能的残気量、分時換気量]

10. 両肺換気から片肺換気に切り替えた際、酸素化は一時的に悪くなるがその後改善してくる。その機序を説明せよ。